

2016年4月

同展示関連イベントとして、リトルグリーモンスターの屋上ライブ(入場無料)なども実施!

昭和のスターとアイドル展 ～テレビからヒット曲が生まれた時代～

5月3日(火・祝)～5月9日(月)

午前10時30分～午後7時【午後7時30分閉場】※最終日は午後5時30分まで【午後6時閉場】

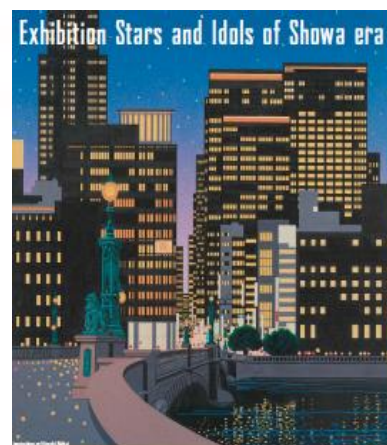
入場料:一般・大学生800円/高校・中学生600円[小学生以下無料・税込]

日本橋三越本店 新館7階ギャラリー

今なお新たに発見され続けている昭和の歌謡曲は、日本のポピュラー音楽の財産です。昭和という時代が終わって平成を迎えても、人々のなかでスターの輝きは失われることなく記憶に残り、名曲はスタンダード・ナンバーとなって現在も生き続けています。

西洋の音楽と日本文化が出会ったところから誕生した歌謡曲が、戦争の時代をはさんで大きく花が開いたのは、戦後の混乱が収まって平和が訪れた1950年代後半からのことです。そして復興から高度成長時代に数多くの歌が生まれ、美空ひばりを筆頭にマスメディアから新しいスターやアイドルが登場してきます。

本展では歌謡曲の歴史を彩ったシングル・レコードのジャケットが、壁面いっぱい飾られるなかで、当時のポスター・写真・ビデオ・パンフレット・原稿・楽譜・楽器・雑誌・衣装などが約200点展示されます。また、山野楽器、ディスクユニオン、八重洲ブックセンターなどと協力、それら歌謡曲が収録されたCDやDVD、アナログレコード、書籍、グッズなどを販売します。



開催概要

期間:2016年5月3日(火・祝)～5月9日(月)

場所:日本橋三越本店

主催:NPO法人ミュージックソムリエ協会

■新館7階ギャラリー

「昭和のスターとアイドル展」展示会場/ギャラリートーク予定

■本館6階 三越劇場(有料)

1)「マイ・ラスト・ソング2016」～歌謡曲が街を照らした時代～

5月6日(金)・9日(月)18:30開場/19:00開演

出演:小泉今日子/浜田真理子

2)「歌謡NABEコンサート」

5月6日(金)14:00 出演:ジェロ、西田あい、伊藤美裕、徳永ゆうき、工藤あやの、三小田朱里、津吹みゆ、最上川司、UNIONE(ユニオネ)、司会)三遊亭わん丈

■本館屋上(無料)

5月3日(火・祝)①正午～ ②午後2時～

出演:リトルグリーモンスター

5月5日(木・祝)①正午～ ②午後2時～

出演:かもめ合唱団など

その他、「歌謡NABEライブ」を開催

※混雑が予想される場合は、各回、着席整理券を配布することがございます。

【新館7階ギャラリー 展示概要】

- 1.ジャズ・エイジの夜明けとともに始まった歌謡曲
- 2.叙情性が新鮮だった古賀政男メロディー
- 3.音楽隊出身の服部良一、真骨頂はジャズとリズム
- 4.焼け跡に花が咲いた三木鶏郎と冗談音楽
- 5.踊って歌えるブギが流行、少女スター美空ひばりの誕生
- 6.アイドル第1号は三人娘「ひばり・チエミ・いづみ」
- 7.日本に定着したシャンソンやポップスの先駆者たち
- 8.日劇ウエスタンカーニバルで爆発したロカビリー革命
- 9.アメリカン・ポップスから生まれたティーン・アイドルたち
- 10.日本調で成功した青春歌謡の御三家
- 11.「上を向いて歩こう」が全米チャート1位の金字塔!
- 12.エレキ・ギターの普及と加山雄三ブーム
- 13.グループ・サウンズが遂げた革命と男性アイドルの登場
- 14.日本調の演歌、艶歌、援歌、怨歌の巻き返し
- 15.テレビから始まった七〇年代のアイドル歌謡曲(キャンディーズなど)
- 16.シンガー・ソングライターとバンドの時代
- 17.昭和のテレビドラマと歌謡曲～久世光彦の世界
- 18.誰も歌える曲があふれていたテレビの歌番組(『ザ・ベストテン』の美術セットの模型などの展示)
- 19.時代の証言者・小西良太郎が選んだ「昭和の歌100」
- 20.ミュージックソムリエ協会が選んだスタンダード1000曲
- 21.ヒットチャートから読み解く時代(その他)

報道関係 お問い合わせ:

(株)三越伊勢丹ホールディングス 広報

TEL 03-6205-6003 FAX 03-6205-6009

this is japan.



MITSUKOSHI